



農大だより

URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/nodai/>

第26号 香川県立農業大学校
〒766-0004
仲多度郡琴平町榎井 34-3
TEL 0877-75-1141 FAX 0877-75-3989
E-mail : nodai@pref.kagawa.lg.jp

校長あいさつ コロナ対策について 全国・中四プロジェクト発表会 □卒論発表会 □同窓会
だより □活躍する卒業生 □技術研修科だより □頑張る修了生 □学生募集 □教職員名簿



写真：建設中のイチゴ等新施設。
次号でトピックス紹介予定です。

農業大学校 Re...スタート

校長 仲本 孝幸

新型コロナウイルス感染症拡大防止緊急事態宣言を受け、五月末まで臨時休校となりました。皆さんには外出自粛や健康管理に努めるようお知らせするなど大変不自由な思いをさせたことと思います。

本校では六月から再開するにあたって、担い手養成科では予定していた講義や実習を一部見直し、夏季休業を短縮するとともに、技術研修科では講座の一部休止や日程の繰り延べなどの措置を取りながら受入体制を整えているところです。特に農業機械利用技能者養成研修は申込者数が定員を大きく超過し、必ずしも皆さんの希望に添えない結果となったことは心苦しく思っています。

例年にならないスケジュールの中始まることとなった今年度ですが、皆さんの学生生活や研修が円滑に進むよう職員一丸となって準備を進めています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み経緯

- 四月六日 新学期開始の延期と入学式の中止を決定。授業開始を四月二〇日とする。この間、課題を設け自宅学習とする。農産物直場所も当面の間臨時休業とする。
- 四月八日 二学年を午前、午後に分けてオリエンテーションを実施。
- 四月九日 一学年を午前、午後に分けてオリエンテーションを実施。
- 四月十六日 香川県緊急事態宣言を受け、授業開始の再延期を決定。授業開始を五月十一日とする。
- 五月一日 自宅学習の促進を図るため、農文協と「デジタル電子図書館」の利用契約を締結。学生全員に個別のIDを割り振り、自宅のパソコンやスマートフォンから制限なく農業図書やビデオの閲覧を可能とした。
- 五月五日 緊急事態宣言の期間延長を受け、授業開始の再々延期を決定。授業開始を六月一日とする。

全国・中四ブロック プロジェクト発表会

令和二年一月二一〜二二日の二日間、山口県において中国四国ブロックプロジェクト発表会が開催されました。本校からは学生七名、全体で一〇〇名が出席し、一八課題の発表がありました。



本校は、廣瀬尚通さんが「着果方法の違いがキウイフルーツ『香川UPーキ5号』の果実品質に及ぼす影響」を、辻松麻衣さんが「パプリカパウダーの給与が卵用讃岐コーチンの卵黄色に及ぼす影響」を発表しま

した。その後の交流会では他校の学生と親睦を深めました。本発表会は次回、高知県で開催されます。

全国プロジェクト発表会は同年二月一〜一四日に東京都の国立オリンピック記念青少年総合センターで約三〇〇名が参加し開催され、本校からは学生四名が参加しました。

まず、記念講演では、(株)ヤンマーアグリの日高茂實氏が「ヤンマーが考える未来の農業」と題して自社の取り組みについて講演がありました。

翌日は一五名のプロジェクト発表と一〇名の意見発表があり、これからの専攻実習に取り組み上で参考になりました。その後の意見交換会では、交流を深めました。

校内卒論発表会

令和二年一月一〇日に校内卒業論文発表会を行いました。二年生は、専攻実習を通して自ら課題を設定し、その課題解決のために調査研究した結果を取りまとめ発表に臨みました。

限られた持ち時間の中で、研究成果や問題点、生産現場での実用性などを整理して伝えようとする苦心の跡がみられました。一年生も発表の進行役として活躍し、来年度に向けて発表の場を経験しました。

学生も含めた出席者による採点の結果、優秀者は次の五名となりました。

- 畜産 辻松 麻衣
- 果樹園芸 廣瀬 尚道
- 果樹園芸 藤田 桜矢
- 果樹園芸 津田 繁則
- 野菜園芸 米田 樹

コース	氏名	課題名
野菜園芸	梶原 功己	簡易ベッドでのトマト栽培における株間調査
	鎌野 祐幹	単為結果性トマトを用いた省力化とその生育特性調査
	合田 翔	ミニトマトの有機栽培における経営評価
	十鳥 喬弘	イボ無しキュウリ「フリーダム」の収量性と嗜好調査
	近石 要	将来の営農計画のための施設考察
	中條 皓介	半自動移植機「ちどりさん」のニンニクへの適用試験
花き園芸	米田 樹	先進農業から学ぶ実践的農業経営
	達阪 駿介	ケイトウの栽植密度の違いが切花品質に及ぼす影響
	鎌倉 早希	ヒマワリの発蕾期の矮化剤処理が切花品質に及ぼす影響
	佐喜 大祐	新テッポウユリ「さやか」代替品種の検討
	藤中 俊起	新型オリジナルハウスの夏季ハウス内温度について
	柳原 静	将来の経営計画
果樹園芸	吉田 統哉	ケイトウの定植日の違いが収穫日に及ぼす影響
	竹内 梨紗	キウイフルーツ「香緑」における早期摘蕾、摘果が及ぼす果実品質への影響
	津田 繁則	ブドウ「ピオーネ」における一房着果が果実品質に及ぼす影響
	中西 俊二	カキ「太秋」における袋かけが果実品質に及ぼす影響
	野口 桃花	モモ「加納岩白桃」の袋かけ時における新梢の除去ならびに摘心処理が果実品質に及ぼす影響
	廣瀬 尚通	着果方法の違いがキウイフルーツ「香川UPーキ5号」の果実品質に及ぼす影響
造園緑化	藤田 桜矢	ナン「幸水」における梅雨明け後の灌水量の違いが果実品質に及ぼす影響
	森安 達章	ナン「豊水」の早期の本摘果が果実品質に及ぼす影響
	吉野 龍太郎	ウンシュウミカン「小原紅早生」における果実陽光面の退色軽減に関する研究
	幸野 歩夏	グラウンドの維持管理について
	田中 輝政	校内における植栽樹木の調査並びに銘板の設置
	蓮井 裕斗	1号見本庭園における竹垣の改修
畜産	松崎 優一	元学生寮中庭におけるピザ窯の製作
	菅 勇人	早期乳房炎発見による良質乳生産への取り組み
	辻松 麻衣	パプリカパウダーの給与が卵用讃岐コーチンの卵黄色に及ぼす影響
	網田 良平	自然哺育における人工乳摂取量の違いが和牛子牛の発育に与える影響
	新田 裕介	2年目の乳用牛コードレスモニタリングを活用した発情発見の効果
	堀川 幸聖	乳用牛の発情期における採食量および乳量の変化
松本 紗耶	巣箱の通気性の改善がイチゴ交配用のセイヨウミツバチに及ぼす影響	



校内卒論発表会

同窓会だより

(株)大和林业代表取締役

大野 俊和さん

動物好きの父親の影響で幼少の頃から、我が家では鶏や牛等の家畜をはじめ多くの動物を飼っていました。動物との生活が当たり前であった私は特に牛の飼育に興味を持ち、農大の畜産コースに入学しました。



農大での学生生活では、農学連年次大会や学生自治会の会長として活動したことも、貴重な体験として心に刻まれています。卒業後は県外でのサラリーマン生活の後、結婚を機に地元へ帰り、森林組合で二〇年に渡り仕事をしていました。高齡化と過疎化で手入れの行き届かなくなった森林の管理に取り組む林業会

社を起業し、綾川町を拠点に現在活動しています。

そして、私の息子も農大の造園緑化コースで学ばせていただき、後継者として期待しています。将来は、親子で木と触れ合いながら地域環境の保全と地元の方々に貢献できるように頑張りたいと思っています。

最後に在校生の皆さんに、農大での在校期間は短いですが貴重な体験は将来必ず役立ちます。今は学生生活を一生懸命に楽しんで下さい。

活躍する卒業生

大西 達也さん(高松市)



大西さんは、平成二八年度に花き園芸コースを卒業して

すぐに自営就農しました。

当初から親とは別経営でした。経営品目は、農大や親の経営を手伝う中での経験とほぼマニュアル化され取り組み安かったヒマワリとナバナです。

ヒマワリは、一五アールで四月頃から一週間毎に約三千粒ずつ播種して、六月から十月まで月に一万本程度出荷しています。ナバナは九月に播種し、三月末まで三〇アール栽培しています。

出荷はどちらもJAで、ヒマワリは三豊ヒマワリ部に所属し、部会員の先輩方に教わりながら高品質な品物が安定供給できるように頑張っています。

卒業後にすぐ就農して不安もありましたが、農大時代の(株)石原での専攻実習が、社会人としての勉強にもなっ

て大変役立ちました。将来は、施設も建てていろいろ園芸品目にもチャレンジしていきたいと目を輝かせて意気込みを語ってくれました。

技術研修科だより

技術研修科では、受講希望に応えられるよう実習と講義を交えた各種研修を開講しています。



R元年度フォローアップ研修
施工したハウスを背に受講生全員で記念撮影

「就農を支援するための研修」では①就農基礎講座②就農準備研修③就農実践研修と、就農に向けてステップアップしながら学ぶことができます。また、「営農技術向上を図るための研修」として開講している①フォロアアップ研修②農業機械利用技能者養成研修③聴講生受入研修などでは就農後に身につけることができよう幅広く研修メニューを用意しています。

この他にも、児童・小中学生向けの農業体験の受け入れも実施しています。

頑張る修了生

三宅賛希さん・三宅眞理子さん親子（観音寺市）



私は就農準備研修生として平成二八年の一期・二期、母は平成三〇年の一年間、農大で野菜づくりの基礎を学び就農しました。
現在はブロッコリー、スイートコーン、サニーレタス等の露地野菜を主体に経営していますが、労力が母と二人なので八月からミャンマーの研

修生を受け入れる予定です。

課題は、借地のほとんどが狭小な農地で効率が悪いことと灌水等の水の確保です。販売はJA主体ですが、仲間とともに市のマルシェ等で販売したりしています。

地域の行事にも積極的に参加し、地元の高屋神社（天空の神社としてSNS等で有名）に氏子としてしめ縄を奉納しました。（TV放映もされました）。

農大での経験と同期の仲間達との交流も生かして、がんばっていききたいです。

学生募集

オープンキャンパス

開催日は、八月二日（日）、八月三〇日（日）、の二回で、時間はいずれも午前の部九時三〇分〜一時三〇分と、午後の部一三時三〇分〜一五時三〇分です。

学校紹介、学校施設案内、個別相談会を含めたわかりやすい内容となっています。来校者には、農業大学校で

生産された季節の花きや果実などを進呈します。開催日の二日前までに本校の教務課に電話で申し込んでください。

入学試験

推薦入学試験の願書受付期間は九月二四日〜一〇月七日で、試験日は一〇月一五日です。前期の一般入学試験の願書受付期間は一二月一日〜一二月一四日で、試験日は翌三年一月七日です。後期の一般入学試験の願書受付期間は三年二月二日〜二月八日で、試験日は二月一六日です。詳細は本校教務課まで。

農業大学校教職員名簿

- 校長 仲本孝幸
- 副校長 森末民子
- 総務研修課長 太卷まさみ
- (庶務・経理担当)
- 主任 内藤哲士
- 主任 三原真由美
- 主事 宮下千晶
- 庁務員 榎原 昇
- (研修担当)

教授 川上 清

教授 黒川領太

教授 佐藤孝治

教授 宮武浩一

教務課長(兼) 森末民子

(学務・農場担当)

教授 横井弘善

教授 谷澤敬久

農場管理員 真鍋利正

野村和親

内野々一枝

谷川哲也

(野菜園芸コース)

教授 中尾俊彦

教授 久保昌弘

教育助手 十鳥喬弘

(花き園芸コース)

教授 山本和人

教授 祖一範夫

教育助手 吉田統哉

(果樹園芸コース)

教授 山口 登

准教授 大谷 衛

教育助手 岡野冬弥

(造園緑化コース)

教授 大原一能

教授 糸瀬俊幸

教育助手 大野幸司

(畜産コース)

教授 齊藤武司